

外来カメプール使用開始

明石 防除捕獲、引き取りで

河川やため池の生態系を破壊する外来種生物「ミシシippアカミミガメ」の対策に取り組み明石市は14日、防除捕獲したり市民から引き取ったりしたカメを収容する保管プールの使用を開始した。

9月、深さ40〜60センチ、カメが甲羅干しできる島もあり、約1000匹を収容できる。この日は市環境部職員が今年度に市民から引き取るなどしたミシシippアカミミガメ約80匹を池に放った。

プールは同市大久保町松陰の明石クリーンセンター敷地内に完成。防水シートモルタル仕上げで縦5段、横

同市は2011年度から河川などで防除調査を実施し、約700匹を捕獲。市民が飼えなくなったカメの引



完成した保管プールにミシシippアカミミガメを放つ市環境部職員 一明石クリーンセンターで

き取りにも取り組んでいる。14年10月にはミシシippアカミミガメの放逐行為を禁止する「あかしの生態系を守る条例」も施行した。

今後は講習を受けた市民に網を貸し出して捕獲したカメを市が引き取る方法で防除を行うこととしており、捕獲したカメをプールで飼い、当面は死んだカメを使って堆肥化の研究を行う。ミシシippアカミミガメ引き取りのカメダイヤル(市環境総務課)は078・918・51000。

【駒崎秀樹】